

**【参考資料】**

本資料は2006年8月7日（米国時間）にAT&Tが発表したリリースの抄訳です。  
原文は<http://att.sbc.com/gen/press-room?pid=5097&cdvn=news&newsarticleid=22441>に掲載されています。

2006年8月10日

## AT&T、 ニューヨーク市からサービスとネットワーキング契約を受注 ～1億ドルの取引が見込まれる複数年契約～

【米国ニューヨーク州ニューヨーク 2006年8月7日発】AT&T（NYSE：T）は本日、ニューヨーク市から、同市の日常業務と重要なデータ・アプリケーション向けの広範な通信サービス契約（市内、長距離、ネットワーキング）を受注したと発表しました。AT&Tは、当初2,500万ドルからなる複数年契約によって、AT&Tは同市の各機関から最大1億ドルの取引を確保する見込みです。

同市がこのサービスを依頼するための「マスター・サービス契約」について交渉した通信事業者は、競争入札プロセスでの結果、AT&Tを含めてわずか2社だけでした。

この契約は、SBCとAT&Tが合併して以来、最大規模のひとつです。ニューヨーク市はこの契約に基づき、AT&Tの市内および長距離音声サービスとデータ・サービスを使用するという選択肢を得ることとなります。同市の行政機関、ニューヨーク市図書館などを始めとする多数の公共文化施設や、交通機関、公立病院などの市の諸機関は、今回の契約によって新しいサービスを購入するか、あるいは他の通信事業者のサービスを切り換えることができます。

今回の契約のもとで提供されるAT&Tのサービスにより、重要なデータを扱う際の冗長性・信頼性・セキュリティをさらに高めるテクノロジーで強化されたネットワークが、市全体に構築されることとなります。救急サービス、病院、文化施設や図書館をはじめ、ニューヨーク市の全機関および同市に拠点を置く他のすべての行政機関は、サービスの使用を望めば、AT&Tのネットワークにアクセスすることが可能になります。

「ニューヨーク市全体に音声およびデータ・サービスを提供することで、同市との関係が強化されることを大変喜ばしく思います。AT&Tの卓越したビジネス・コンティニュイティー（事業継続性）サービスがニューヨークの各機関に優れたサービスをもたらし、同市は住民や企業に対するサービスの改善を実現することができるでしょう。数多くの文化施設、学校、公園などを擁する、活気あるニューヨーク市政府に選定され、当社は今回の仕事に特にやりがいを感じています。」

AT&T  
グループ・プレジデント  
フォレスト・ミラー（Forrest Miller）

###

**AT&Tについて**

AT&T Inc.は米国内最大、そして世界でも屈指の通信事業持ち株会社です。AT&Tブランドのもと、グローバルに事業を展開するAT&T企業グループは、企業向けIP通信サービスで世界的な主要事業者であるだけでなく、高速DSLインターネット、市内および長距

離通話、電話帳出版および広告サービスにおける米国最大の事業者です。AT&T Inc.は、米国随一の携帯通信事業者として 5,730 万の顧客を擁するシンギュラー・ワイヤレス社（Cingular Wireless）の株式を 60%保有しています。AT&T Inc.ならびに AT&T のサービスに関する詳細は <http://www.att.com/> をご覧下さい。

© 2006 AT&T Knowledge Ventures. All rights reserved. Subsidiaries and affiliates of AT&T Inc. provide products and services under the AT&T brand.